

ごあいさつ



一般財団法人
全日本大学サッカー連盟
会長

衛藤 征士郎

「アットホームカップ2020 第17回インディペンデンスリーグ【同好会】」の開催を祝し、ご挨拶申し上げます。

令和新时代が幕開けし新春を迎え、「2020東京オリンピック・パラリンピック」の開催に湧く劈頭となったのも東の間、新型コロナウイルスが猛威を振るい、4月7日政府により「緊急事態宣言」が発令され、人的な動きや経済活動に大きな影響と制約が生じ、その期間も1か月半に及びました。

コロナ感染症の拡大を受けて、私たちの暮らしや生活も変化を求められており、一人一人がコロナと向き合いマスクの着用や手洗い・うがいなど自らの努力も欠かせないものとなっています。

当連盟でもwithコロナ、afterコロナに対応するべく、文部科学省・スポーツ庁を始め政府関係機関のご協力を得ながら、連盟一丸となって情報収集、対策を自ら講じてコロナ後の環境整備に向け努力を傾注している所です。

まずはじめに、新型コロナウイルス感染症に罹患された方々及びその関係者の皆様方に心よりお見舞い申し上げますとともに一日も早い快復をお祈り申し上げます。

また、最前線で治療にあたられている医療従事者の方々、感染拡大防止にご尽力いただいております行政各機関の皆様方に深甚なる敬意と感謝を申し上げます。

本大会は大学サッカーの“同好会”チームを対象にした大会であり、大学サッカー界の活性化を図ることを目的に設立されました。また、数ある同好会の大会の中でも唯一、公益財団法人日本サッカー協会が公認を得ており、同好会最高峰の大会と言えます。

このような状況下で、今年度の大学サッカーに目を向けると、新型コロナウイルス感染症拡大防止の影響から3月の「デンソーカップチャレンジサッカー」、8月の「総理大臣杯全日本大学サッカートーナメント」と2つの全国大会を中止としたため選手が技を磨き情熱を傾けて競い合う大会の機会が失われているのが、気がかりであり当連盟としても学生の活躍する場を減少させないように相務めております。

そのような中で参加する学生諸君は大会を開催するために多くの関係者各位が尽力して頂きましたことにより試合ができる喜びを感じるのと同時に、多くの方々の支えに感謝してプレーしていただきたいと思っております。

最後になりましたが、長年にわたりご支援を賜っております特別協賛社のアットホーム株式会社様をはじめ、本大会の開催にあたりご支援、ご協力を賜りました関係者の皆様方に心より御礼申し上げますご挨拶といたします。



公益財団法人
日本サッカー協会
会長

田嶋 幸三

今年は、新型コロナウイルス感染拡大の影響で全世界が未曾有の困難に直面しました。

スポーツ界も例外ではなく、東京オリンピックが来年に延期されたほか、FIFAワールドカップ2022カタールアジア2次予選も来年に延期されることに、Jリーグをはじめとする多くの国内大会も中断や中止を余儀なくされました。今年ほどスポーツの大切さ、スポーツがある日常の素晴らしさを強く感じた年はなかったのではないのでしょうか。選手の皆さんはその気持ちをピッチの上で存分に表現してください。

本大会は大学サッカーの活性化と選手のプレー機会の創出を目的にスタートし、今年で17回目の開催を迎えました。サッカーを楽しむことを主眼に置いた同好会チームの大会ながらもレベルは高く、毎年、手に汗握る激戦が繰り広げられています。

全日本大学サッカー選手権同様、学生自らが大会運営を行っており、会場は若さや活気にあふれています。今年は、新型コロナウイルス感染予防のために難しい大会運営となりますが、草の根の活動のモデルとなるような対策が取られることを期待しています。また、大会だけでなく日々のスポーツ活動においても新型コロナウイルスを想定した新しい様式を実践していくことが求められています。選手も、運営する側も、観戦する側もこの大会で多くの知見を得て、日々の活動の中に浸透させてほしいと思っております。

大学生の皆さんがそれを実践することで「withコロナ」の意識が若者たちをはじめ、多くの世代に広がっていくものと確信しています。最後になりましたが、本大会の特別協賛社としてご支援いただいているアットホーム株式会社をはじめ、株式会社ミカサの関係者の皆さま、運営に携わる学生の皆さんに心から御礼申し上げます。



アットホーム株式会社
代表取締役社長

鶴森 康史

私どもアットホーム株式会社は、「Independence League【同好会】」の特別協賛社として今年で8年目となりました。本年も「アットホームカップ」の愛称のもと、本大会は勿論のこと、学内大会や理事会・運営委員会のサポートも含めて、微力ながら皆さんの活躍をお手伝いできることを大変嬉しく感じております。

本大会の大きな魅力は、チームのプライドをかけたハイレベルな戦いもさることながら、日々の鍛錬の中で築かれていく仲間との信頼、学生自らがリーグ運営を行うことで育まれていく主体性など、若者たちが成長していく姿に、この国の「明日」が垣間見られることです。皆さんがここで得る経験の一つひとつが、これから社会で活躍するための礎となっていきます。そして、社会人としての歩みを始めた時、それはきっと大きなアドバンテージになっていることでしょう。

当社におきましても、1967年(昭和42年)の創業以来50年以上にわたり、「調和(共生)」を企業理念の中心に据えて、働く仲間同士の信頼を最も大切にまいりました。様々な個性を持った人材が集まり、それぞれの持ち味を互いに尊重しながら助け合い、成長することで、しっかり社会に貢献しようとして頑張っております。これからも、この国の「明日」を担う若者たちを応援・サポートしてまいります。

最後になりましたが、本大会に関係する全ての皆様のご健勝とご活躍を祈念申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。